

橿原市コミュニティバス運賃改定案に係るパブリックコメントの募集結果

1. パブリックコメントの実施概要

橿原市コミュニティバス運賃改定案に係るパブリックコメントの募集を以下のとおり実施しました。

公開した資料	橿原市コミュニティバスの運賃改定案について 市内バス路線図及びコミュニティバス時刻表（公共交通インフォメーション）
意見の募集期間	令和7年3月1日（土）から令和7年3月31日（月）まで
閲覧場所	・都市計画課 ・分庁舎1階 屋内交流スペース ・奈良県立医科大学附属病院北玄関 ・コミュニティバスが運行する地区の公民館（鴨公、香久山、八木、畝傍） ・市ホームページ
意見を提出できる方	・市内に在住、在勤、在学する方 ・市内に事務所または事業所を有する個人及び法人その他の団体 ・市税の納税義務者 ・橿原市コミュニティバス運賃改定に関して利害関係を有する個人及び法人その他の団体
意見提出方法	・投函箱への投函 ・直接持参 ・郵送 ・FAX ・電子メール ・WEBフォーム

2. 結果概要

意見提出者数	2名
意見提出方法	・投函箱への投函 1名 ・WEBフォーム 1名

3. いただいたご意見と市の考え

No.	意見内容 (原文のまま掲載しています)	市の考え
1	<p>我々ひとつの手段として利用していますもっと便数を多くして沢山の人が利用してらうのが一つの案と思います、それにはバスに乗ること馴れてもらう最初はある年齢になると切符を配りまず馴れてもらうことを励行したらと思っています。</p>	<p>バスの増便は利用者の利便性をあげる代表的な方法の一つですが、増便するためには、車両購入や運行のための経費負担、運転士の確保などが必要です。</p> <p>コミュニティバスは、平日は大和八木駅と昆虫館、土日祝日はそこに加えて櫃原神宮前駅を結ぶバスですが、利用状況を見ると、大和八木駅と医大病院玄関口との間は一定数の利用が見られますが、それ以外の利用者は少ない状況です。</p> <p>こうした利用状況において、大きな負担を伴う増便は難しいと考えています。</p> <p>バスに乗ることに慣れてもらうために切符を配るというご提案ですが、幼少期からバスに慣れ親しむ機会を設けることで将来的な利用につなげることは、利用者を増やす有用な施策の一つです。</p> <p>バス路線を存続させるためには何より多くの方に利用してもらうことが重要ですので、ご提案いただいた内容も含め、利用者を増やす施策を検討していきます。</p>
2	<p>もうすこし本数をふやしてほしい</p>	<p>バスの増便は利用者の利便性をあげる代表的な方法の一つですが、増便するためには、車両購入や運行のための経費負担、運転士の確保などが必要です。</p> <p>コミュニティバスは、平日は大和八木駅と昆虫館、土日祝日はそこに加えて櫃原神宮前駅を結ぶバスですが、利用状況を見ると、大和八木駅と医大病院玄関口との間は一定数の利用が見られますが、それ以外の利用者は少ない状況です。</p> <p>こうした状況において、大きな負担を伴う増便は難しいと考えています。</p>